

みずほCustomer Desk Report 2017/06/27号 (As of 2017/06/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	111.30
TKY 9:00AM	111.25	1.1200	124.59	0.9693	GBP/USD	1.2745
SYD-NY High	111.94	1.1220	125.14	0.9739	AUD/USD	0.7599
SYD-NY Low	111.13	1.1172	124.48	0.9687		0.7560
NY 5:00 PM	111.87	1.1182	125.08	0.9726		0.7586
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	6.99/7.39		Δ25RR	0.905	Yen Call Over	
NY DOW	21,409.55	14.79	債券市場			
NASDAQ	6,247.15	▲18.10	日本2年債	-0.1010	▲0.3bp	
S&P	2,439.07	0.77	日本10年債	0.0540	▲0.3bp	
日経平均	20,153.35	20.68	米国2年債	1.3323	▲0.8bp	
TOPIX	1,612.21	0.87	米国5年債	1.7565	-	
ソコ日経先物	20,225.00	95.00	米国10年債	2.1370	▲0.5bp	
ロンドンFT	7,446.80	22.67	独10年債	0.2450	▲1.0bp	
DAX	12,770.83	37.42	英10年債	1.0110	▲2.0bp	
ハンセン指数	25,871.89	201.84	豪10年債	2.3740	0.3bp	
上海総合	3,185.44	27.57	為替市況			
USDJPY 3M Vol	8.00	▲0.13%	USD/CNH	6.8542	0.0179	
USDJPY 6M Vol	8.50	▲0.12%	ドルインデックス	97.43	0.16	
EURJPY 3M Vol	8.00	▲0.09%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	8.65	▲0.17%	CRB指数	168.569	0.83	
			NY金	1,246.40	▲10.00	
			WTI	43.38	0.37	
			Dubai Spot	#N/A	#N/A	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月26日	08:50	日 日銀金融政策決定会合(6/15-16)における主な意見	-	-
	14:20	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	17:00	独 IFO景況感/期待/現況指数	6月	115.1/106.8/124.1
	21:30	米 耐久財受注/除く輸送用機器・速報(前月比)	5月	-1.1%/0.1%
				114.5/106.4/123.2
				-0.6%/0.4%

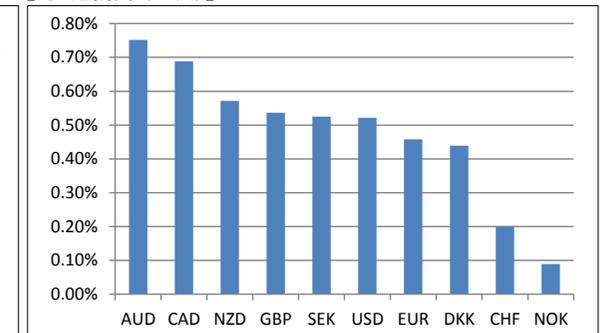
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月27日	17:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	17:05	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	19:00	英 カーニー・BOE総裁 講演	-	-
	23:00	米 消費者信頼感	6月	116.0
	00:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	02:00	米 イエレンFRB議長 講演	-	-
	06:30	米 カシウカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.50	1.1150-1.1250	124.00-126.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は上昇。弱い米耐久財受注や米入国禁止令の条件付承認などドルの悪材料あったが、ストップを巻き込みながら足元一目均衡表の雲の上限を突破している。次の高値水準としては5月24日の日中高値112.13くらいしかなく、その次はロシアゲート事件にて不透明感が急速に高まった5月17日の高値113.12程度。今日は海外時間にイエレンFRB議長含めて当局者の講演が予定されているが、FOMC後でもあり目新しい材料が出てくるとは考えづらい。本日のドル円は上を試す展開が予想されるも、その勢いは限定的と予想する。

東京	東京時間のドル円は111.25レベルでオープン。日経平均が堅調推移する展開にドル円も連れ高となり、111.35まで小幅上昇。シドニーにて行われていたウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁による講演では、足許のインフレ率の伸び悩みは一時的な要因として来年のある時点で2%の目標を達成するとの認識が示されるもドル円相場への影響は限定的。引けにかけても動意に乏しい展開が続く中で111.30近辺での推移に終始し、結局111.38レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は上昇した。111.38レベルでオープン。堅調な欧州株や米長期金利の上昇を背景にドル円も上昇する展開となり、111.67レベルでNYへ渡った。ロンドンでは下落した。1.2750レベルでオープン。先日行われた英国総選挙にて予想外に議席数を減らしたメイ首相率いる保守党が民主統一党(DUP)との17日間に及ぶ交渉が進められる中、メイ首相とDUPファースト党首との会談が開かれ、ファースト党首の「保守党との合意をまとめる事が出来ると期待している」との発言に約1週間ぶりの高値となる1.2759を付けた。その後、ボジション調整に1.2707まで下落するも、保守党とDUPが連立交渉合意との報道に下げ幅を戻し、結局1.2728レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	海外時間は堅調なアジア・欧州株式市場を横目にドル円は111.73まで上昇し、111.67レベルでNYオープン。朝方発表された5月耐久財受注が2ヶ月連続で減少し、設備投資の先行指標となるコア資本財受注(国防・航空機除くベース)も5ヶ月ぶりに前月比マイナスとなったことから、ドル売りが強まりドル円は111.36まで下落。しかし欧州株高の流れを引き継ぎ米株が高値寄りしたことや、ポリティティの低下などを背景にクロス円が上昇する中でドル円は111.55付近まで反発。その後、米連邦最高裁による入国禁止令の条件付き承認が伝わり、米株が急落したことからドル円も111.37まで下落するも、金融株主導で米株が切り返したことから、ドル円も上昇に転じ、ロンドン時間高値の111.73、100日移動平均の位置する111.81付近のストップを巻き込みながらこの日の高値となる111.94まで上昇。しかし、5月25日以降1ヶ月ぶりの水準ということからこの水準ではドル売り意欲も強く、112円台にのせる展開とはならず111.90付近での推移が続く。結局111.87レベルでクロスした。一方ユーロドルは、1.1182レベルでNYオープン。朝方発表された弱い米指標や米金利低下を背景としたドル売りに、ユーロドルは1.1220まで急伸。しかし、1.12台ではユーロ売り意欲も強く、その後ドラギ総裁の「ギリシャの債務、持続可能性に深刻な懸念が残る」とのヘッドラインを受けてユーロドルは1.1176まで下落。その後も上値の重い推移が続く。結局1.1182レベルでクロスした。
<p>本情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。</p>	

担当: 山本・鶴田